

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-124014

(43)Date of publication of application : 16.05.1995

(51)Int.Cl.

A45C 13/30
G03B 17/56

(21)Application number : 05-272114

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 29.10.1993

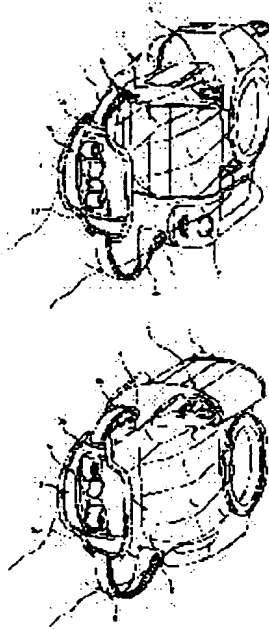
(72)Inventor : MIYAKE MITSURU

(54) HAND STRIP

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily change the setting position of a hand strap to a position suitable for vertical or horizontal camera position and improve the operability by diagonally providing at least two cut in a back member.

CONSTITUTION: A first cut 1a and a second cut 1b are diagonally arranged and made on a back member 1. A strap member 2 is attached after twisted at a twisting position 2a. The first cut 1a is located so that a horizontal position shutter release button 8 cant be easily manipulated with an index finger and the second cut is arranged so as to allow a photographer to easily manipulate a vertical position shutter release button 7 with the index finger. To change the setting position of a hand strap to a position for vertical camera position, the strap member 2 is taken off from a first fastening member 3a and a second strap setting part 5, twisted again, put through a third strap setting part 6, and then fastened by the first fastening member 3a again.



BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許公開番号

特開平7-124014

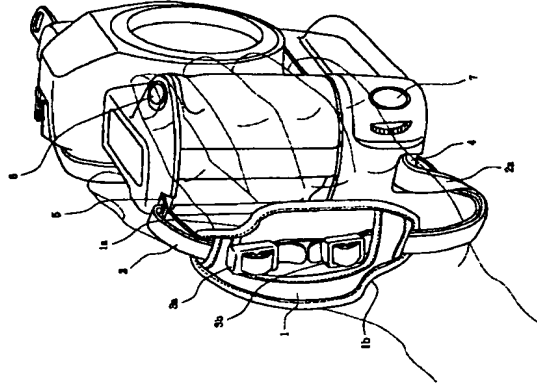
(43)公開日 平成7年(1995)5月18日

(51)Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
A45C 13/30	N			
G03B 17/56	D	7256-2K		
審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)				

(21)出願番号	特開平5-272114	(71)出願人	000001007 キヤノン株式会社
(22)出願日	平成5年(1993)10月29日		東京都大田区下丸子3丁目30番2号
		(72)発明者	三宅 亮 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内
		(74)代理人	弁理士 丸島 肇一

(54)【発明の名称】 ハンドストラップ

(57)【要約】
【目的】 カメラの縦位置状態および横位置状態などに
応じてハンドストラップの取付け位置の変更が容易に行
えるハンドストラップを提供する。
【構成】 甲当て部材とストラップ部材を有するハンド
ストラップにおいて、甲当て部材における該ストラップ
部材に直交する線に対称な位置の近傍もしくは甲当て部
材の対角方向に少なくとも2ヶ所の切り欠き部を設け
た。



IN 33333333 1333

(2)

【特許請求の範囲】
【請求項1】 甲当て部材とストラップ部材を有するハ
ンドストラップにおいて、
前記甲当て部材の対角方向に少なくとも2ヶ所の切り欠
き部を設けたことを特徴とするハンドストラップ。
【請求項2】 甲当て部材とストラップ部材を有するハ
ンドストラップにおいて、
前記甲当て部材における該ストラップ部材に直交する線
に對称な位置の近傍に、少なくとも2ヶ所の切り欠き点を
設けたことを特徴とするハンドストラップ。

【発明の詳細な説明】
【0001】
【産業上の利用分野】 本発明は特にカメラなどに用いられ
るハンドストラップに関するものである。

【0002】
【従来の技術】 従来のハンドストラップのカメラへの縦
位置、横位置のつけ換えはカメラのストラップ取付け部
からストラップおよび甲当ての両端取付け部を全て外
し、甲当ての裏裏裏、リリースボタンの操作性を向上さ
せるために設けてある切り欠き部が正しい位置に来るよ
うに取付け直さなければならなかった。

【0003】
【発明が解決しようとしている課題】 従来例では甲当て
およびストラップをカメラから完全に取外さなければハ
ンドストラップをカメラの縦位置状態および、横位置状
態に合わせて取付けることが出来ず、煩わしいものであ
った。

【0004】 本発明はこのような問題点に鑑み、ハンド
ストラップをカメラから完全に取外すことなく、カメラ
の縦位置状態および横位置状態などに合わせたハンドス
トラップの取付け位置の変更が容易に行え、且つ操作性
の向上を計ったハンドストラップを提供するものであ
る。

【0005】
【課題を解決するための手段】 本発明によれば、ハンド
ストラップの甲当て部材に對角方向もしくはストラップ
部材に直交する線に對称な位置の近傍に、少なくとも2
ヶ所の切り欠き部を設けたことにより、カメラの縦位
置状態および横位置状態などの使用状態に合わせたハン
ドストラップの取付け位置変更がストラップ部材をカメ
ラから完全に取外すことなく、容易に行えるようにした
ものである。

【0006】
【実施例】 図1および図2は本発明の第1の実施例を示
す図である。図1において、1は甲当て部材で、第1の
切り欠き部1aと第1の切り欠き部1aの対角方向に第
2の切り欠き部1bを有する。2はストラップ部材でね
じり位置2aでねじられ取付けられている。3aはス
トラップ部材2を所定の長さで固定する第1の固定部材
で、3bはストラップ部材2を所定の長さで固定する第

2の固定部材である。4はカメラ本体に設けられた第1
のストラップ取付け部、5はカメラ本体に設けられた第
2のストラップ取付け部である。図2において、6はカ
メラ本体に設けられた第3のストラップ取付け部であ
る。7はカメラを縦位置にしたときの縦位置用リリース
ボタン、8はカメラを横位置にしたときの横位置用レリ
ーズボタンである。

【0007】 図1はカメラを横位置で使用する状態を示
す図で、ストラップ部材2は第1のストラップ取付け部
4に半回転ねじられて取付けられ、第2の固定部材で所
定の長さで固定されている。第1の切り欠き部1aは撮
影者の人差し指が横位置用リリースボタン8を操作する
際に甲当て部材1が操作の妨げにならないようにするた
めのものである。

【0008】 図2はカメラを縦位置で使用する状態を示
す図で、第2の切り欠き部1bは、撮影者の人差し指が
縦位置用リリースボタン7を操作しやすいように切り欠
いてある。

【0009】 図1に示される状態から図2に示される状
態にするために、ストラップ部材2を第1の固定部材3
aからはずして、その後第2のストラップ取付け部5か
らはずす。そして、ねじり位置2aのねじりを直す方向
にストラップ部材2を回転させ、ストラップ部材2を第
3のストラップ取付け部6に通した後、第1の固定部材
3aで所びストラップ部材2を固定する。図2の縦位置
状態でねじり位置2aにおいてねじられて取付けられて
いるとリリースボタン7を操作する人差し指の動きを妨
げるため、図1の横位置状態のときにストラップ部材2
はねじり位置2aにおいてねじられて取付けられてい
る。

【0010】 図3、図4および図5は本発明の第2の実
施例を示す図で、図3はカメラを横位置で使用してい
る状態をわし、また図4はカメラを縦位置で使してい
る状態を表し、さらに図5は第2の実施例の横位置の構
成を説明する図である。

【0011】 図3および図4において、11は甲当て部
材でストラップ部材に直交する線に對称な位置の近傍
第1の切り欠き11aおよび第2の切り欠き11bを有
する。12はストラップ部材である。なお、図1および
図2と同一の構成に関しては同一番号をつけ説明を省略
する。図5において13は着脱自在のアフタナーのルー
プで14は着脱自在のアフタナーフック側で、共に甲
当て部材11の内側に形成されている。15はストラッ
プ部材12の先端部に取付けられた着脱自在のアフタナ
ーループ側で、甲当て部材11の内側のアフタナール
ープ側3とフック側4の間にはさみ込まれることでスト
ラップ部材12は甲当て部材11に対して固定される。

【0012】 図3の状態から図4の状態にするために
は、図5に示されるように甲当て部材11のアフタナー
13、14をはがし、図3においてストラップ部材12

(3)

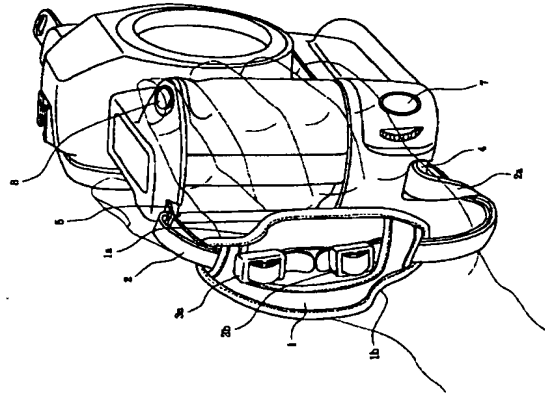
の撮影者の人差し指側の端部をファスナーフック側14から後第2のストラップ取付け部5からはずし、ストラップ部材12をねじることなく第3のストラップ取付け部6に通し、再び甲当て部材11の内側のファスナーフック側13とフック側14の間にはさみ込み、ストラップ部材12を固定する。甲当て部材11は表裏が同一で且つ固定部材11によって表裏が指定されない構造であるために、ストラップ部材12をねじって取付ける必要がない。

【0013】

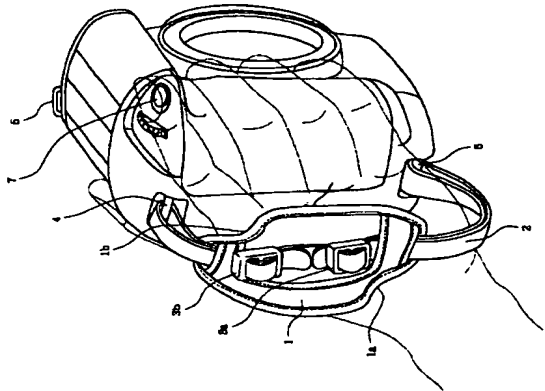
【発明の効果】以上説明したように、本発明によればハンドストラップの甲当て部材に、対角方向もしくはストラップ部材に直交する様に対称な位置の近傍に少なくとも2ヶ所の切り欠き部を設けたことによって、カメラの縦位置状態および横位置状態などの使用状態に合わせたハンドストラップの取付け位置変更がストラップ部材を2ヶ所のカメラのストラップ取付け部から取外すことなく、又、ストラップを取外したとしても、1ヶ所のストラップ取付け部だけで済むため、容易に行うことができ、且つ甲当て部材に設けられた切り欠き部がハンドストラップの取付け位置を変更したとしても、例えばカメラに取付ける際には、リリースボタンを操作する撮影者の人差し指の位置にあるために撮影者のリリースボタン操作を妨げることなくカメラの安定的なホールドディングを可能にする。

【図面の簡単な説明】

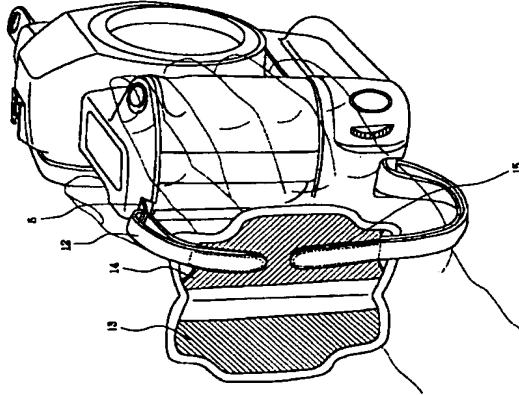
【図1】



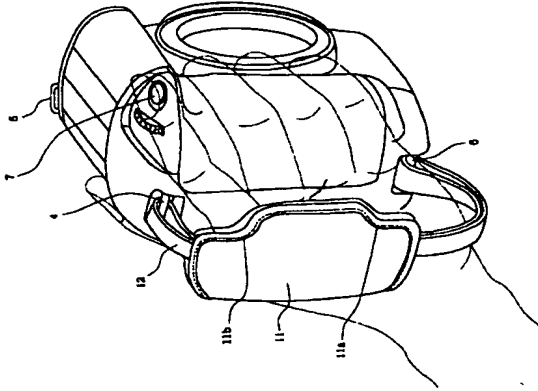
【図2】



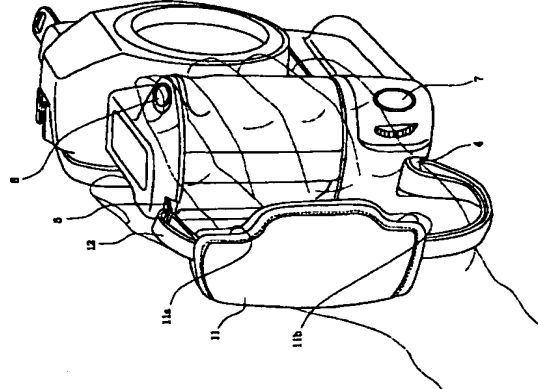
【図5】



【図4】



【図3】



(4)

BEST AVAILABLE COPY